

さんいく 恭

題字「さんいく」は、元賛育会後援会名誉会長故湯浅恭三氏の筆です

賛育会後援会だより 2022年2月号・第104号

賛育会後援会事務局・〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8 TEL 03-3622-7614・編集発行者 木村 庸五

多くのご支援・ご寄付を感謝いたします

賛育会後援会 会長 木村 庸五

新型コロナウイルスのデルタ株の蔓延がようやく収まったかと思っ
ても間もなく、新たにオミクロン株が早くも世界中に広まり、日本でも新年
から急激に感染者が増加しています。

医療と福祉の事業に従事している賛育会としては、長引く危機対応の
中、万全の注意を払い続けてきています。幸いにして、職員による感染
防止対策における並々ならぬ努力のおかげで、賛育会関連施設内での感染拡大の発生は防
ぐできていますが、気を緩めることのできない情勢が長く続いています。

2021年度の上半期は、9月に終了してすでに3か月以上過ぎております。遅ればせ
ながら、上半期の報告をご送付申し上げます。

当上半期においても、多くの個人の方々やさまざまな団体から多額のご寄付と募金への
応募をいただき、また励ましのお言葉をいただき深く感謝いたします。子ども園の「母の
会」からも心温まるプレゼントをいただき感激しております。また、豊野復興支援募金・
寄付が、当期以前からの累計で7,280万円余りにも達したことを喜びと感謝をもって
ご報告いたします。

賛育会は、「共に生きる」というキリスト教の愛の精神を、医療と福祉の活動を通じて
具体的に実践すべく、様々な創意工夫を凝らしながら、地域に根ざした、よりよい事業推
進を目指して努力しておりますので、今後とも、賛育会の活動に関心をお寄せくださり、
ご理解・ご協力・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



2021 年度上期 寄付金・募金等報告
～総額 17,530,416 円にも上るご支援に感謝！～
～豊野復興支援募金・寄付は累計で 72,830,275 円となりました～

2021 年度上期（4 月～9 月）に、賛育会へ皆様から頂きました寄付金や募金は延べ 320 件（個人と団体）の皆様から総額 17,530,416 円にのぼりました。新型コロナウイルスの感染が拡大し、社会全体が大きな混乱にある中で、多くの皆様から目を向けていただき、ご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。内訳は次の通りです

一般寄付 (賛育会が行う事業全般・地域貢献活動 後援会賛助会費等)	賛育会が行う事業全般・ 地域貢献活動全般への寄付・募金	¥5,578,226
	後援会賛助会費・維持会費	¥129,000
	合計	¥5,707,226
豊野復興支援指定募金・寄付	豊野事業所復興募金	¥823,190
施設指定寄付	特定施設での施設整備・ 特定の活動への募金・寄付	¥11,000,000
寄付金総合計		¥17,530,416

（単位：円）

可愛いクリスマスプレゼントをいただきました



アドベントも近づいた昨年 11 月 24 日、賛育会病院に温かいクリスマスプレゼントを届けて下さった方々がありました。さいたま市にあるキリスト教精神に基づく子ども園「学校法人母の会 認定こども園母の会」の方々です。国内で子ども達のために、心のこもった医療を提供しているキリスト病院に献げものをしようと、キリスト者医科連盟に相談をしたところ、当院を紹介されたそうです。子ども達はバザーで資金を集めて絵本を選び買い求め、その絵本と日頃の礼拝での献金を携え、子ども達、理事長真崎みよ子さん、保護者と職員の方々が来院されました。先に届けられた本箱に子ども達は絵本を納め、リボンで飾り、園の歌を皆さんで歌って下さいました。一行をお迎えした高本院長をはじめ、職員有志それぞれに感謝の言葉を述べて心温まるひと時を持ちました。先日も真崎理事長よりクリスマス献金を送ってくださる旨連絡を頂き、思いがけなく始まった「子ども園」と「病院」との交わりに、改めて神様に感謝する思いを与えられました。

（賛育会病院チャプレン 山崎正幸）